

共立化成

エマルジョン燃料の製造に注力

廃溶剤や廃水が主原料

共立化成（千葉県市

原市、田中理介社長、

☎0436・41・1

552）は、利用ニ

ズが高まっているエマ

ルジョン燃料の製造事

業に力を入れる。エマ

ルジョン燃料は廃棄物

の有効利用を目的とし

て製造。廃溶剤や廃水

を主として他の原料を

組み合わせ、カロリー

や成分を調整し、製品

化している。最近では、

ワックスやペンキなど

も用いるなど原料の幅

を広げている。

同事業は4年ほど前

に立ち上げた。エマル

ジョン化システムは田

中社長が考案。ミキサ

ーを使わずに独自の仕

組みのポンプで循環さ

せることで、性状が一

定ではない廃棄物もよ

く混合し、フレキシブ

ルに対応できる。装置

の運転も簡単で、1時

間前後の稼働で燃料が

完成する。

現在、エマルジョン

燃料は月間300ト程

度を製造している。樹

脂を溶剤に溶かして熱

量を上げるなど、製品

の保有熱量が5000

キロワットになるようにし

ている。ユーザーの要

望によっては、300

0-7000キロの範囲

内で調整を行う。製造

したエマルジョン燃料

はセメントや石灰製

造、産業廃棄物の焼却

施設など5-6社に販

売している。

同社は1972年に

廃溶剤の蒸留再生と販

売を事業として設立し

た。ジクロロメタン、

トリクロロエチレン、

テトラクロロエチレン

といった塩素系溶剤の

蒸留再生を得意として

いる。2009年に燃

料化プラントを設置

し、同事業を拡大して

きている。